

# 令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会

## 第3回登山道部会

日時：令和8年3月4日（水）10:00～12:00

場所：Web会議システム

### 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 議 事

##### (1) 協議事項

(仮称)日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレード(案)について

##### (2) 報告事項

- 1) 登山者カウンター及びトレイルカメラの設置予定について【帯広・新ひだか自然保護官事務所】
- 2) 日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数について【日高北部森林管理署】
- 3) 十勝西部森林管理署管内の山岳及びアクセス道の状況について【十勝西部森林管理署】
- 4) 十勝山岳連盟の活動について【十勝山岳連盟】

#### 3. その他

#### 4. 閉 会

【配付資料】

構成員・出席者名簿

資料 1	日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレード周知媒体（案）
報告資料 1	登山者カウンター及びトレイルカメラの設置予定について
報告資料 2	日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数（令和 8 年 1 月 31 日現在）
報告資料 3	十勝西部森林管理署管内の山岳及びアクセス道の状況
報告資料 4	十勝山岳連盟の活動について（十勝山岳連盟）【非公開】
参考資料	日高山脈襟裳十勝国立公園協議会登山道部会規約・名簿
参考資料	日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレード（たたき台）の検討報告
参考資料	第 2 回登山道部会及び部会後の意見・対応方針一覧
参考資料	令和 7 年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会第 1 回登山道部会議事概要
参考資料	令和 7 年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会第 2 回登山道部会議事概要

令和7年度第3回日高山脈襟裳十勝国立公園協議会登山道部会  
出席者名簿

分野	所属名	役職名	構成員名(敬称略)
学識経験者	北海道大学大学院	教授	愛甲 哲也
国	日高北岳森林管理署	署長	野木 宏祐
	日高南岳森林管理署	総括事務管理官	大水 貴博
	十勝西岳森林管理署	総括事務管理官	水谷 豊
	北海道運輸局	観光倍增観光企画課 観光企画係長	経田 直哉
	北海道地方環境事務所	国立公園課長	尼子 直輝
北海道	環境生活部	自然環境局自然環境課 自然公園担当課長	島村 哲也
	日高振興局	環境生活課長	栗林 稔
	十勝総合振興局	保健環境部環境生活課長	内田 朋宏
市町村	帯広市	環境課 自然公園係長	関井 かおる
	日高町	地域経済課長	小野寺 孝
	平取町	観光商工課長	藤谷 直樹
	新冠町	企画課 総括主幹	下川 広司
	浦河町	商工観光課長	民部 宏治
	様似町	商工観光課長	板谷 潤
	えりも町	産業振興課長	武田 健太郎
	新ひだか町	課長補佐	山田 成途
	清水町	農林課長	寺岡 治彦
	芽室町	環境土木課長	橋本 直樹
	中札内村	産業課主事補	工藤 翔太
登山関係団体	十勝山岳連盟	会長	齊藤 邦明
自然保護団体	アポイ岳ファンクラブ	会長	田中 正人
	十勝自然保護協会	理事	植田 幹夫
観光関係団体	十勝観光連盟	専務理事	植松 秀訓

【随行者】

分野	所属名	役職名	構成員名（敬称略）
国	日高北部森林管理署	総括事務管理官	長崎 隆憲
		事務管理官	伊藤 智哉
	日高南部森林管理署	主任事務管理官	日野 道俊
		事務管理官	阿部 達矢
	十勝西部森林管理署	事務管理官	米田 和敏
北海道	環境生活部	自然環境局自然環境課 公園利用係長	今 哲也
		自然環境局自然環境課 公園保全係長	藤田 竜太
		自然環境局自然環境課 技師	菅原 史也
	日高振興局	環境生活課 自然環境係長	林 正敏
		自然環境係 主事	佐々木 尽
		地域創生部地域政策課 危機対策室 主幹	須川 一規
		地域創生部地域政策課 危機対策室 主査	鎌田 佳祐
	十勝総合振興局	保健環境部環境生活課 主事	道下 翔
市町村	日高町	地域経済課 総括主幹	高橋 健
	平取町	会計年度任用職員	山木 正生
	様似町	商工観光課 アポイ岳保全係長	佐々木 将貢
	芽室町	環境土木課 生活環境係長	速水 洋之
自然保護団体	アポイ岳ファンクラブ	事務局長	田村 裕之
	十勝自然保護協会	事務局長	川内 和博

【事務局】

北海道地方環境事務所	国立公園課課長補佐	田畑 桂
	国立公園課課長補佐	相原 百合
帯広自然保護官事務所	上席自然保護官	柳田 邦敏雄
	自然保護官補佐	谷水 亨
新ひだか自然保護官事務所	自然保護官	草留 大岳
	自然保護官補佐	城 辰幸
アジア航測株式会社		入江 潔
		中山 里美
		高田 雄介

# 日高山脈襟裳十勝国立公園 登山道利用体験グレード ～2025年度版～

## はじめに

日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレードは、日高山脈を登山しようとする方が、登山利用をするに当たって自主的な行動判断をするための目安として、日高山脈襟裳十勝国立公園協議会が作成したものです。

近隣の大雪山グレードを参考にしつつも、日高山脈の特性に応じたものとして、**6段階のグレード（グレードA～F）**として新たに整理し直しています。本グレードは登山道の現況をふまえ、体力レベルと技術レベルを考慮して設定しました。

最新の情報を収集し、また本グレードも参考とし、無理のない登山計画を立てていただき、魅力ある自然を後世に守り伝えていける登山を心掛けましょう。

## グレーディングの設定表

タイプ	登山道					
	グレードA	グレードB	グレードC	グレードD	グレードE	グレードF
概況	明瞭		一部不明瞭	沢、徒渉ルート、やぶこぎ、岩稜帯、細稜線		
体力レベル	短 → 長					
標高差	小 → 大					
技術レベル	低 → 高 → 極高					
迷いやすさ	低			高 → 極高		
難しい地形	少			多 → 極多		
含むコース	・アポイ岳 ・ベケレベツ岳 ・剣山 ・伏美岳 （登山口から） ・猿籠山道 ・楳嶺山道 ・ピンネシリ ★参考 ・旭岳・十勝岳	・十勝幌尻岳 ・豊似岳 ・芽室岳 ・久山岳 ・アポイ岳～ピンネシリ ★参考 ・トムラウシ （短縮道登山口）	・北戸髙別岳 （チロロ林道コース） ・美古岳 ・神威岳 ・ベテガリ岳 （ベテガリ山荘から） ・豊似岳 （観音岳経由）	・幌尻岳 （千呂露川二岐沢・額平川・新冠コース） ・コイカクシュツナイ岳 ・ピバロ岳 （トムラウシ林道から） ・チロロ岳	・カムイエクウチカウシ山 ・1839峰 ・幌尻岳 （伏美岳コース） ・イドンナップ岳	
求められる装備	雨具、行動食、防寒着、携帯トイレ、コンパス、紙地図、GPS、ツェルト、クマ対策道具（クマ鈴・ホイッスル・クマスプレー等）					
	沢靴や泊の装備（非常食含む）					

## ルートの留意事項

### 【共通事項】

- 多くのルートでササ、ハイマツ等のやぶこぎがあり、登山道が不明瞭となっている箇所があり、道に迷いやすい。
- **（やぶ）** やぶこぎマーク  
植物が密集した場所をやぶこぎで通過する。通過に時間がかかり、登山道が不明瞭で道を迷いやすい。
  - **（沢）** 沢登り・沢歩きマーク  
沢歩き、沢登りがあり、沢靴が必要となる。降雨時、雨後には、増水のため通行困難となる場合がある。
  - **（徒）** 徒渉マーク  
川・沢を横切る場所があり、降雨時、雨後には、増水のため通行困難となる場合がある。
  - **（急）** 急斜面マーク、**（岩）** 岩稜マーク  
滑落の危険性があるため、注意して通行すること。

### 【ルート別】

- **十勝幌尻岳（沢、徒）**  
・ルートの取り付きがわかりにくい場所があるため注意。
- **チロロ岳（やぶ、沢、徒）**  
・山開き後も残雪が残っていることが多いため、情報収集に留意。
- **幌尻岳（伏美岳コース※伏美岳・ピバロ岳含む）（やぶ、急、岩）**  
・伏美岳避難小屋へ繋がる林道は工事中であり、歩行者を含め通行止めになる場合あり。
- **幌尻岳（額平川コース）（やぶ、徒、急）**  
・北海道電力の取水施設から幌尻山荘まで多数の徒渉あり、沢靴が必要。水量が多いため増水に注意。
- **幌尻岳（千呂露川二岐沢コース※北戸髙別岳含む）（徒、急）**  
・登山口から北戸髙別岳の区間のうち、登山口からヌカピラ岳にかけては、沢筋を歩くため足元に注意。  
また、季節、悪天候等による増水にも注意。  
・幌尻岳（千呂露川二岐沢コース）の日帰り登山は、登りだけで9時間以上を要し、暗い中での沢筋歩きを伴うなど、大変危険。
- **イドンナップ岳（やぶ、徒、沢）**  
・登山口手前にある専用林道等には決壊箇所があるため、徒歩による通行注意。
- **神威岳（やぶ、徒）**  
・複数回の徒渉があり沢靴が必要。道道 348 号野深沢伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。
- **ベテガリ岳（やぶ）**  
・本グレードは、ベテガリ山荘からベテガリ山頂までの区間を想定した評価。  
・ベテガリ山荘に至る経路について、道道111号静内中札内線は、現時点で徒歩も含めて通行止め。  
・神威山荘方面からのルートについて、道道 348 号野深沢伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。
- **ベケレベツ岳（やぶ）**  
・登山口周辺が不明瞭であるため注意。
- **芽室岳（急）**  
・分岐からパンケヌーシ岳にかけて未整備の箇所あり。
- **久山岳（やぶ）**  
・登山口から道が錯綜。山頂へ至る道も数で不明瞭。
- **剣山（急）**  
・ロープ等はあるが過信しないこと。
- **カムイエクウチカウシ山（やぶ、沢、徒、急、岩）**  
・登山ルートに続く道道は、歩行者を含め通行止めになる場合あり。  
・徒渉箇所が複数あるため、増水に注意すること。ルートが不明瞭な箇所がある。ゴルジュを回避するルートを通行した方がよい。
- **1839峰（やぶ、沢、急、岩）**  
・ルートが長く、日高山脈の中でも特に険しい。

## まず留意いただきたいこと

- ・登山に関する教育を受けたり自己学習を深めたりすることにより、十分な知識を持つとともに、十分な登山の経験を有している方を前提としています。そうでない方は、登山計画を変更することや、プロの山岳ガイドや熟練した経験者に同行を依頼することも検討してください。
- ・標識はありません。GPSはもとより、コンパス・紙地図を用意し、それを使いこなし、適切に判断できる地図読みの能力があることを前提にしています。
- ・エスケープルート・避難小屋は限られます。ツェルトや非常食等を用意し、緊急時の装備を使いこなせること、悪天候や体調不良等の危険を正しく評価し、登山中止を判断できることを前提としています。
- ・1,900m前後の山が多いですが、緯度が高い（北に位置する）ため、気象や気候は本州の3,000m級の山々に匹敵します。あらかじめ気象や気候を確認し、適切な服装及び装備（手袋、帽子、防寒着等）を用意していることを前提としています。
- ・無雪期・天気良好を想定し作成しています。残雪については情報収集し、必要に応じて対策をしてください。
- ・登山ルートの通行や山頂への到達、通行上の安全を保証するものではありません。登山する際は、十分な装備のもと、自己責任において入山してください。
- ・入山の際は、事前に北海道警察に登山計画書を提出するとともに、登山口に入林簿が設置されている場合は記入をしてください。

## コラム：ヒグマへの対応について

- 日高山脈襟裳十勝国立公園は、ヒグマが高密度で生息している場所です。
- やぶこぎや沢歩きが多くヒグマとの遭遇リスクが高い上に、エスケープルートや避難小屋も限定されます。
- 日高山脈では、過去にカムイエクウチカウシ山で3名の登山者が亡くなる事故も起きています。
- ヒグマとの事故を回避するためには、正しい知識と対処方法を身につけて行動することが、最も効果的な手段です。

### ●事前の準備

- ・市町村や警察のホームページ等で最新のヒグマの出没状況を確認し、危険があれば計画を変更しましょう。
- ・食料は密閉した袋やフードコンテナに入れ、クマ鈴やホイッスルを装備しましょう。また、クマ撃退スプレーは適切な性能を有するものを準備し、事前に使い方を確認しておきましょう。
- ・クマ撃退スプレーは、いざという時にすぐ使うことができる場所に携帯しましょう。
- ・複数人で行動し、また離れないようにすることも、事故を防ぐために効果的です。

### ●ヒグマと遭遇しないために

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人の存在を知らせる <ul style="list-style-type: none"> <li>・声やクマ鈴・ホイッスルで人の存在を知らせる</li> <li>・特に沢沿い・やぶ・視界の悪い場所に注意する</li> <li>・薄暗い時間帯の行動を避ける</li> </ul> </li> <li>2. 周囲に気をつける <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の音や気配に常に注意する</li> <li>・新しいヒグマの痕跡（足跡、糞など）を見つけたら、より警戒し、場合によっては引き返す</li> </ul> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>3. ヒグマを誘引しない <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料の匂いを漏らさないよう工夫する</li> <li>・匂いの強い食事は特に危険</li> <li>・ゴミは必ず持ち帰る</li> </ul> </li> </ol> |
|--|---|

挿絵や写真

### ●ヒグマと遭遇したときには

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 冷静に対応！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・慌てて走るのは危険（ヒグマが興奮して追いかけてくる場合がある）</li> <li>・ヒグマを興奮させないよう静かに話しかけ、様子を見ながら距離を保って静かに立ち去る</li> </ul> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 万が一に備える！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒグマが接近してきたらクマ撃退スプレーを構える（有効距離は約5m）</li> <li>・万が一襲われた場合は防衛姿勢をとる</li> </ul> </li> </ol> |
|--|---|

詳しくは



クマ類に遭遇した際にとるべき行動（クマ類の出没対応マニュアル-改定版-（環境省）抜粋）

挿絵や写真

# 日高山脈襟裳十勝国立公園 登山道グレーディングマップ

※本グレーディングマップは、登山利用をするにあたっての判断の目安として作成したもので、登山地図としての利用はできません。

**■主なアクセス道**

- 一般道
- 一般道(車両通行止め・徒歩通行可)
- 一般道(全面通行止め)
- シャトルバス区間
- 専用林道等(一般車両通行可)
- 専用林道等(一般車両通行可・期間等の制限あり)
- 専用林道等(徒歩のみ通行可)
- 専用林道等(全面通行止め)

**■凡例**

- ☆ 徒渉
- ☆ 沢登り
- ☆ やぶこぎ
- ☆ 岩稜帯
- ☆ ヤセ稜線
- 国立公園境界
- 🏠 山小屋

専用林道等は、森林の整備等のための業務用道路であり、「見通しが悪い」、「道幅が狭い」、「ガードレールがない」など一般道とは異なります。また、落石、土砂、倒木等によって通行が妨げられることや事故につながる危険性もあります。事故防止のため、十分に減速するなど防衛運転を徹底し、自己責任で通行してください。

**■利用体験グレード**

- グレードF
- グレードE
- グレードD
- グレードC
- グレードB
- グレードA
- 探勝歩道

注1) 本グレーディングマップの利用体験グレードは、日高山脈独自の基準をもとに設定したもので、ほかの国立公園の登山道グレードと単純な比較はできません。

注2) 本グレーディングマップは無雪期を想定して作成しています。季節によってやぶの有無などの難易度に変化が生じるルートがあります。

注3) 破線表示のルートは国立公園区域外であることを示しています。

注4) 注意箇所は大きな位置を示したもので、必ずしも実態と同じではありません。また、沢登りや徒渉には高度な技術を要する場合があります。

注5) ペテガリ岳登山口に通じる一般道および林道は徒歩を含めて通行止めとなっています。



令和 8 年 3 月 4 日  
帯広自然保護官事務所/新ひだか自然保護官事務所

## 日高山脈襟裳十勝国立公園登山道におけるクマ対応検討に向けた 登山者カウンター及びトレイルカメラの設置予定について（報告）

### 1. 趣旨

近年、全国各地でクマ類の出没が確認される事例が増加し、国立公園内におけるクマ対応についても、関心が高まっています。日高山脈は、古くから登山者の間ではヒグマの生息地として知られていますが、新たに日高山脈襟裳十勝国立公園として指定されたことから、登山利用に関するヒグマ対応のあり方の整理が必要と考えています。

このため、登山道における人の往来状況等を把握し、今後のクマ対応のあり方の検討及び注意喚起等に資する基礎的な情報を収集することを目的として、登山者カウンター及びトレイルカメラを設置したいと考えております。

### 2. 設置概要

#### (1) 設置場所

日高山脈襟裳十勝国立公園内の登山道 2 地点

※ 設置場所の詳細は土地所有者等との調整を経て決定する。

#### (2) 設置機器(各地点に各 1 台)

- ・登山者カウンター（登山道通過人数を自動的に計測する機器）
- ・トレイルカメラ（登山道周辺の状況を定期的に撮影する機器）

#### (3) 設置期間

令和 8 年 5 月頃から一定期間を想定する（積雪前まで）。

### 3. 設置の目的及び活用方法

本設置により得られる情報は、登山者の利用が集中する時期や時間帯等を把握し、情報提供体制の検討、ヒグマ出没時における注意喚起の検討等、登山利用者が参考とできるものとして活用することを想定しています。

### 4. 個人情報及びプライバシーへの配慮

本設置については、日高山脈襟裳十勝国立公園協議会での報告並びに北海道地方環境事務所 WEB ページ及び登山道で周知を行います。

トレイルカメラにより取得される画像は、登山道及びその周辺の状況把握を目的とするものであり、特定の個人を識別又は監視するものではありません。取得したデータについては、関係法令等を踏まえ、適切に管理します（個人を識別できない形の統計のみ保存する等）。

#### 【連絡先】

北海道地方環境事務所帯広自然保護官事務所 自然保護官  
同新ひだか自然保護官事務所 自然保護官  
電話：0155-34-5500(帯広)／0146-49-2172(新ひだか)  
メール：[RO-OBHIRO@env.go.jp](mailto:RO-OBHIRO@env.go.jp)

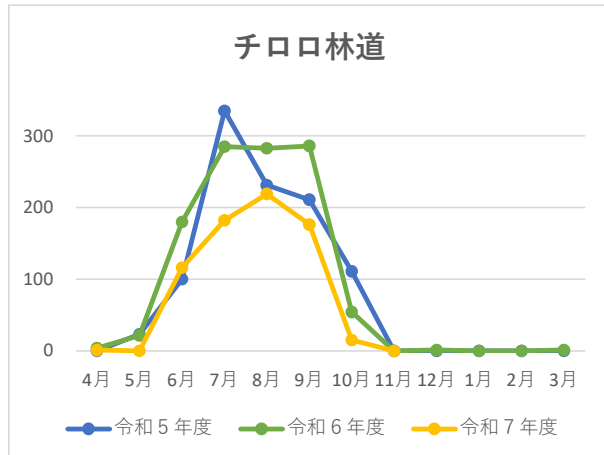
林野庁 北海道森林管理局  
日高北部森林管理署

## 日高北部森林管理署管内の入林者名簿記載者数

(令和8年1月31日現在)

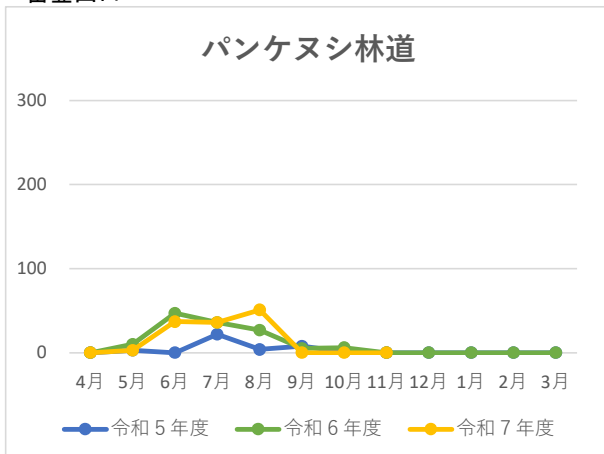
林道・月別入林者名簿記載者数(チロロ林道終点) ヌカピラ岳～北戸蔦別岳～幌尻岳登山口

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	0	4	1
5月	23	21	0
6月	100	180	116
7月	335	285	182
8月	231	283	219
9月	211	286	176
10月	111	54	15
11月	0	0	0
12月	0	1	未回収
1月	0	0	未回収
2月	0	0	
3月	0	1	
合計	1,011	1,115	709



林道・月別入林者名簿記載者数(パンケヌシ林道) チロロ岳登山口

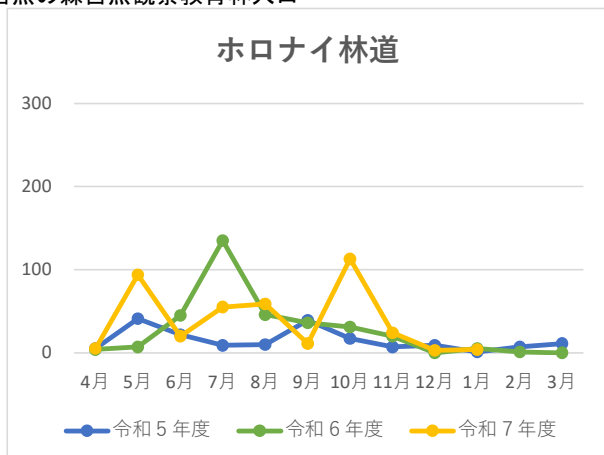
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	0	0	0
5月	3	10	3
6月	0	47	37
7月	22	36	36
8月	4	27	51
9月	8	5	0
10月	1	6	0
11月	0	0	0
12月	0	0	未回収
1月	0	0	未回収
2月	0	0	
3月	0	0	
合計	38	131	127



(パンケヌシ林道については、令和5年度は通行止め)

林道・月別入林者名簿記載者数(ホロナイ林道) 日高自然の森自然観察教育林入口

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	5	4	5
5月	41	7	94
6月	22	45	20
7月	9	135	55
8月	10	46	59
9月	39	36	11
10月	17	31	113
11月	7	20	24
12月	9	0	3
1月	1	5	4
2月	7	1	
3月	11	0	
合計	150	330	388



## 十勝西部森林管理署管内の山岳及びアクセス道の状況

R8.2.28現在

市町村名	山岳名	関連山岳	林道	林道状況	林道ゲート	R6入林者数	R7(4~11月)	備考
清水町	剣山 (1,205m)		-	-	-	1,589	1,429	
	ペケレベツ岳 (1,531m)		-	-	-	208	13	
	芽室岳 (1,753m)		オマベツ林道	積雪あり 車両通行不可	開放中	50	94	
	久山岳 (1,411m)		-	-	-	-	-	
芽室町	伏美岳 (1,792m)	ピパイロ岳 北戸蔦別岳	トムラウシ沢林道	林道決壊のため起点で 車両通行不可 (徒歩可)	閉鎖中	-	-	起点より1.5km地点 工事中（総延長の 20%復旧）
帯広市	十勝幌尻岳 (1,846m)		オピリネツプ林道	積雪あり 車両通行不可	開放中	310	380	
中札内村	コイカシツナイ岳 (1,721m)	ヤオロマップ岳 1 8 3 9 峰	-	-	-	46	93	入林者数は、札内 川ヒュッテに設置 した入林届の記載 を集計したもの
	カムイケツカウシ山 (1,979m)		-	-	-			

注) 入林者数は入林名簿に記載のあったものの集計値であり、正確な数値ではありません。

注) 各欄の入林者数は各時点での総数です。

事務局注記 登山道部会での指摘を踏まえ、中札内村の行について備考欄を追記された。

## 日高山脈襟裳十勝国立公園協議会登山道部会規約

令和7年5月7日

日高山脈襟裳十勝国立公園協議会総会決定

日高山脈襟裳十勝国立公園協議会規約第8条に基づき、次の部会を設置する。

### (名称)

第1条 本部会の名称は、「登山道部会」とする。

### (目的)

第2条 日高山脈襟裳十勝国立公園の核心部となる日高山脈の登山道は、非常に難易度の高いものから初級者に利用可能なものまで多岐にわたる。そのため、登山利用のリスク軽減並びに登山道及びその周辺環境の保全が図られるよう、既設登山道の適正利用に係る課題を把握し、普及啓発等の必要な対策について検討することを目的とする。

### (検討事項)

第3条 日高山脈襟裳十勝国立公園全域に共通する以下の事項について検討を行い、その結果は日高山脈襟裳十勝国立公園協議会及び幹事会に報告する。

- (1) 登山道の適正利用に関する事項(入山心得、グレードの設定等)
- (2) 登山道及びその周辺環境の保全に関する事項(環境モニタリング等)
- (3) 上記のほか本部会の目的を達成するために必要な事項

### (構成)

第4条 日高山脈襟裳十勝国立公園協議会構成機関等のうち、参画を希望する者により構成するほか、必要に応じて、アドバイザーを招へいすることができる。

### (開催頻度)

第5条 登山道の利用状況等を踏まえて、本部会で検討が必要な議題に応じて随時開催する。

### (事務局)

第6条 事務局は、北海道地方環境事務所国立公園課が担う。また、必要に応じて、構成機関が共同事務局を担うこともできる。

日高山脈襟裳十勝国立公園協議会  
登山道部会 名簿

構成
日高北部森林管理署
日高南部森林管理署
十勝西部森林管理署
北海道開発局
北海道運輸局
北海道地方環境事務所
北海道
帯広市
日高町
平取町
新冠町
浦河町
様似町
えりも町
新ひだか町
清水町
芽室町
中札内村
大樹町
広尾町
日高山岳連盟
十勝山岳連盟
アポイ岳ファンクラブ
十勝自然保護協会
十勝観光連盟
日高管内観光連盟
北海道大学大学院 教授 愛甲 哲也

※その他、必要に応じて、アドバイザーを招へいする。

# 日高山脈襟裳十勝国立公園 登山道利用体験グレード（たたき台） の検討報告

---

アジア航測株式会社

（北海道地方環境事務所発注「令和6年度（補正）日高山脈襟裳十勝国立公園協議会運営等業務」請負者）

# 背景

日高山脈襟裳十勝国立公園協議会第1回登山道部会（6月23日開催）の議論を踏まえ、「グレードのたたき台」の検討を進めた。

- 登山道部会において議論する「グレードのたたき台」を作成する目的。
- 学識経験者、対象路線を広く歩いている者及び事務局を中心に、5名程度によるワーキンググループ（WG）を設置し、複数回のWGを開催。

## 【メンバー】

- ・ 愛甲 哲也：北海道大学教授
- ・ 高橋 健：登山家
- ・ 高柳 昌央：登山家・山岳ガイド
- ・ 谷水 亨：登山家・山岳ガイド・山岳ライター  
（兼 帯広自然保護官事務所）

## 【関係機関（主な土地所有者）】

- ・ 日高北部森林管理署
- ・ 日高南部森林管理署
- ・ 十勝西部森林管理署
- ・ 日高振興局森林室

## 【環境省】

- ・ 北海道地方環境事務所、帯広自然保護官事務所、新ひだか自然保護官事務所

## 【事務局】

- ・ アジア航測株式会社

## 【第1回WG：9月3日開催】

- ・ グレード設定・対象路線の考え方の確認
- ・ グレード区分案初版

## 【第2回WG：9月18日開催】

- ・ 第1回WGの議論を踏まえたグレード設定の考え方（修正版）の確認
- ・ グレード区分案改訂版（体カレベル・技術レベルの2軸での検討）

## 【第3回WG：11月27日開催】

- ・ グレード区分案3訂版（考慮すべき要素をポイント制とした検討）

## 【第4回WG：2月18日開催】

- ・ 第2回登山道部会（12月22日開催）の指摘を踏まえた再検討

# 主な意見

- 全般に難易度の高い山であり、有人施設や案内板はほとんどないため、十分な知識・経験を有する者が自己責任で登る山であることを前提とすることを提示すべき。
- 設定したグレードをマップに表示するだけでなく、その設定理由も提示すべき。
- 各々が想定するグレードは、直近の入山時期（季節の差、手入れ状況の差等）によって心象が異なり完全に一致させることは難しい。その中でも、一定の基準に基づいて、概ね同意できるようなものとして設定する。
- ヒグマの生息地であることを改めて周知し、各自対策が必要なことを提示すべき。
- 登山ルートやアプローチ道の状況は頻繁に変化するため、最新の情報を収集することが必要なことを提示すべき。また、グレードは定期的に見直すべき。
- 登山ルートごとに特に危険なポイント、留意すべき事項があるため、それがわかるように提示すべき。
- 多くの登山口は国立公園外に位置するが、利用者の混乱を生じないように、国立公園外も含めて幹線道路から登山口までの道、登山口からのルートを表示すべき。
- 登山地図として使用されないよう注意してデザインし、その旨明示もすべき。

## 第4回WG結果概要

第2回登山道部会で寄せられた御意見を踏まえ、第4回WGにおいて、以下の論点について検討を行った。

### ① 一路線内におけるグレードの分割について

- ・幌尻岳（チロロ林道コース）について、登山口から北戸蔦別岳までの往復が比較的容易だと誤認される恐れがあり、分割してグレードを示すことはリスクを伴う。
- ・コース分割時は、その地点で引き返す登山者がいるかが重要である。星マーク等で稜線に登った場合の注意事項をマップ上に示すとよい。
- ・登山者へのグレード周知の観点では大雪山との難易度の比較を示すのがよい。

**【結論】**バックデータに従ってグレードを当てはめることとする（一路線内での分割も可）。その際、ルートごとの留意事項の情報や、マップ上のマーク等での注意喚起等を組み合わせた周知に留意する。また、近隣の大雪山国立公園の主な山との比較も明示する。

### ② ピンネシリのグレード（グレードAの取扱い）について

**【結論】**ピンネシリをグレードBへ移動、グレードAは空欄とし、今後のグレード見直しの際、必要に応じてグレードAに該当する路線を追加する。

### ③ ペテガリ岳のグレードについて

**【結論】**ペテカリ山荘-ペテガリ岳山頂区間について、バックデータのグレードDを採用する。その上で、留意事項にペテカリ山荘-ペテガリ岳山頂区間のグレードであることが分かるよう明記する。

# グレードのたたき台

---

# 登山道グレーディングマップ①



# 登山道グレーディングマップ②



# 登山道グレーディングマップ③



# グレーディングの設定表

タイプ	登山道					
グレード	グレードA	グレードB	グレードC	グレードD	グレードE	グレードF
概況	明瞭		一部不明瞭	沢、徒渉ルート、やぶこぎ、岩稜帯、細稜線		
体カレベル						
登山時間	短			長		
標高差	小			大		
技術レベル						
迷いやすさ	低			高		極高
難しい地形	少			多		極多
含むコース		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アポイ岳</li> <li>・ベケレバツ岳</li> <li>・剣山</li> <li>・伏美岳 (登山口から)</li> <li>・猿留山道</li> <li>・様似山道</li> <li>・ピンネシリ</li> <li>★参考</li> <li>・旭岳・十勝岳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝幌尻岳</li> <li>・豊似岳</li> <li>・芽室岳</li> <li>・久山岳</li> <li>・アポイ岳～ピンネシリ</li> <li>★参考</li> <li>トムラウシ (短縮道登山口)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北戸蔦別岳 (チロロ林道コース)</li> <li>・楽古岳</li> <li>・神威岳</li> <li>・ペテガリ岳 (ペテガリ山荘から)</li> <li>・豊似岳 (観音岳経由)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幌尻岳 (千呂露川二岐沢)</li> <li>・額平川・新冠コース)</li> <li>・コイカクシュサツナイ岳</li> <li>・ピパイロ岳 (トムラウシ沢林道から)</li> <li>・チロロ岳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カムイエクウチカウシ山</li> <li>・1839峰</li> <li>・幌尻岳 (伏美岳コース)</li> <li>・イドンナップ岳</li> </ul>
求められる装備	雨具、行動食、防寒着、携帯トイレ、コンパス、紙地図、GPS、ツェルト、クマ対策道具 (クマ鈴・ホイッスル・クマスプレー等)					
	沢靴や泊の装備 (非常食含む)					

# グレード設定の基本的考え方（全般の留意事項）

- 登山に関する教育を受けたり自己学習を深めたりすることにより、十分な知識を持つとともに、十分な登山の経験を有している方を前提としています。そうでない方は、登山計画を変更することや、プロの山岳ガイドや熟練した経験者に同行を依頼することも検討してください。
- 標識はありません。GPSはもとより、コンパス・紙地図を用意し、それを使いこなし、適切に判断できる地図読みの能力があることを前提としています。
- エスケープルート・避難小屋は限られます。ツェルトや非常食等を用意し、緊急時の装備を使いこなせることはもとより、悪天候や体調不良等の危険を正しく評価し、登山中止を判断できることを前提としています。
- 1,900m前後の山が多いですが、緯度が高い（北に位置する）ため、気象や気候は本州の3,000m級の山々に匹敵します。あらかじめ気象や気候を確認し、適切な服装及び装備（手袋、帽子、防寒着等）を用意していることを前提としています。
- 無雪期・天気良好を想定し作成しています。残雪については情報収集し、必要に応じて対策をしてください。
- 登山ルートの通行や山頂への到達、通行上の安全を保証するものではありません。登山する際は、十分な装備のもと、自己責任において入山してください。
- 入山の際は、事前に北海道警察に登山計画書を提出するとともに、登山口に入林簿が設置されている場合は記入をしてください。

# ルートの留意事項

## 【共通事項】

多くのルートでササ、ハイマツ等のやぶこぎがあり、登山道が不明瞭となっている箇所があり、道に迷いやすい。

(やぶ) やぶこぎマーク

植物が密集した場所をやぶこぎで通過する。通過に時間がかかり、登山道が不明瞭で道を迷いやすい。

(沢) 沢登り・沢歩きマーク

沢歩き、沢登りがあり、沢靴などが必要となる。降雨時、雨後には、増水のため通行困難となる場合がある。

(徒) 徒渉マーク

川・沢を横切る場所があり、降雨時、雨後には、増水のため通行困難となる場合がある。

(急) 急斜面マーク、(岩) 岩稜マーク

滑落の危険性があるため、注意して通行すること。

## 【ルート別】

### ●十勝幌尻岳 (沢、徒)

・ルートの取り付きがわかりにくい場所があるため注意。

### ●チロロ岳 (沢、徒、やぶ)

・山開き後も残雪が残っていることが多いため、情報収集に留意。

### ●幌尻岳 (伏美岳コース※伏美岳・ピパイロ岳含む) (やぶ、岩)

・伏美岳避難小屋へ繋がる林道は工事中であり、歩行者を含め通行止めになる場合あり。

### ●幌尻岳 (額平川コース) (やぶ、徒)

・北海道電力の取水施設から幌尻山荘まで多数の徒渉あり、沢靴が必要。水量が多いため増水に注意。

### ●幌尻岳 (千呂露川二岐沢コース※北戸蔦別岳含む) (やぶ、徒)

・登山口から北戸蔦別岳の区間のうち、登山口からヌカピラ岳にかけては、沢筋を歩くため足元に注意。また、季節、悪天候等による増水にも注意。

・幌尻岳 (千呂露川二岐沢コース) の日帰り登山は、登りだけで9時間以上を要し、暗い中での沢筋歩きを伴う など、大変危険。

### ●イドンナップ岳 (徒、沢、やぶ)

・登山口手前にある専用林道等には決壊箇所があるため、徒歩による通行注意。

### ●神威岳 (徒、やぶ)

・複数回の徒渉があり沢靴が必要。道道 348 号野深荻伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。

### ●ペテガリ岳 (やぶ)

・本グレードは、ペテガリ山荘からペテガリ山頂までの区間を想定した評価。

・ペテガリ山荘に至る経路について、道道111号静内中札内線は、現時点で徒歩も含めて通行止め。

・神威山荘方面からのルートについて、道道 348 号野深荻伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。

### ●ペケレバツ岳 (やぶ)

・登山口周辺が不明瞭であるため注意。

### ●芽室岳

・分岐からパンケヌーシ岳にかけて未整備の箇所あり。

### ●久山岳 (やぶ)

・登山口から道が錯綜。山頂へ至る道も藪で不明瞭。

### ●剣山 (急)

・ロープ等はあるが過信しないこと。

### ●カムイエクウチカウシ山 (徒、急、岩)

・登山ルートに続く道道は、歩行者を含め通行止めになる場合あり。

・徒渉箇所が複数あるため、増水に注意すること。ルートが不明瞭な箇所がある。ゴルジュを回避するルートを通行した方が良い。

### ●1839峰 (沢、やぶ、岩)

・ルートが長く、日高山脈の中でも特に険しい。

# 参考 1

---

# グレード設定バックデータ①

資料1	ルート	標高+歩行距離												
		標高(m)					歩行距離(km)					歩行時間(h)		合計
		標高	ポイント	標高差	ポイント	累積標高	ポイント	歩行距離	ポイント	林道距離	累積歩行	ポイント	歩行時間	ポイント
梶尻岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)	2052.1	5	1667	10	3216	10	18.2	10	7.2	25.4	5	10h-	10	50
(参考)北戸高別岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)	1967.0	5	1583	9	2718	10	13.2	7	7.2	20.4	5	10h-	10	46
梶尻岳(新冠コース・イドンナップ岳山荘から)	2052.1	5	1632	10	2380	10	4.5	3	19.0	23.5	5	10h-	10	43
梶尻岳(チロロ林道コース)	2052.1	5	1421	8	2339	10	12.6	7	3.1	15.7	4	8h-10h	8	42
ペテガリ岳(神威山荘から)	1735.6	4	1377	7	2798	10	13.1	7	4.9	18.0	4	10h-	10	42
ピパイロ岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)	1916.2	5	1531	9	2144	10	7.7	4	7.2	14.9	3	10h-	10	41
1839峰	1842.0	4	1353	7	1928	10	12.4	7	0.0	12.4	3	10h-	10	41
カムイエクウチカウシ山	1979.2	5	1365	7	1629	8	10.2	6	5.7	15.9	4	10h-	10	40
イドンナップ岳	1752.0	4	1346	7	2030	10	10.3	6	0.0	10.3	3	8h-10h	8	38
梶尻岳(額平川コース)	2052.1	5	1298	6	1433	7	7.4	4	7.2	14.6	3	10h-	10	35
ペテガリ岳(ペテカリ山荘から)	1735.6	4	1331	7	2206	10	8.7	5	0.0	8.7	2	8h-5h	6	34
(参考)北戸高別岳(チロロ林道コース)	1912.0	5	1281	6	1874	9	7.6	4	3.1	10.7	3	8h-5h	6	33
コイカクシュサツナイ岳	1721.0	4	1217	6	1704	9	7.9	4	0.0	7.9	2	8h-5h	6	31
伏美岳(トムラウシ沢林道から)	1792.0	4	1408	8	1554	8	3.8	2	7.2	11.0	3	8h-5h	6	31
神威岳	1600.0	4	1215	6	1387	7	6.3	4	0.0	6.3	2	5h-3h	4	27
チロロ岳(西峰含む)	1879.5	4	1219	6	1488	7	5.4	3	0.0	5.4	2	5h-3h	4	26
アポイ岳～ピンネシリ(アポイ岳登山口)	957.7	1	887	3	1334	7	10.2	6	0.0	10.2	3	8h-5h	6	26
楽古岳	1471.3	3	1103	5	1385	7	5.1	3	0.0	5.1	2	5h-3h	4	24
十勝梶尻岳	1845.6	4	1235	6	1272	6	4.9	3	0.0	4.9	1	5h-3h	4	24
芽室岳(西峰含む)	1753.5	4	1139	5	1218	6	4.8	3	0.0	4.8	1	5h-3h	4	23
豊似岳(庶野分岐・観音岳)	1104.6	2	865	3	1133	6	6.1	4	0.0	6.1	2	8h-5h	6	23
久山岳	1411.3	3	1000	4	1022	5	4.1	3	2.2	6.3	2	5h-3h	4	21
猿留山道	488.0	1	413	1	588	3	12.4	7	0.0	12.4	3	8h-5h	6	21
伏美岳(登山口から)	1792.0	4	1062	4	1060	5	3.8	2	0.0	3.8	1	5h-3h	4	20
豊似岳(歌別分岐)	1104.6	2	767	3	946	5	4.9	3	0.0	4.9	1	5h-3h	4	18
ベケレベツ岳	1531.8	3	729	3	1003	5	4.0	3	0.0	4.0	1	-3h	2	17
剣山	1204.9	2	781	3	910	5	3.9	2	0.0	3.9	1	-3h	2	15
アポイ岳(北海道自然歩道線)	810.2	1	740	3	899	4	5.2	3	0.0	5.2	2	-3h	2	15
様似山道	182.0	1	170	1	520	3	3.9	2	0.0	3.9	1	5h-3h	4	12
ピンネシリ	957.7	1	520	2	356	2	1.5	1	0.0	1.5	1	-3h	2	9

標高	標高差	累積標高	歩行距離	累積歩行	歩行時間	
0-999	1 0-499	1 0-299	1 0-1.9	1 0-4.9	1 -3h	2
1000-1399	2 500-699	2 300-499	2 2-3.9	2 5-9.9	2 5h-3h	4
1400-1599	3 700-899	3 500-699	3 4-5.9	3 10-14.9	3 8h-5h	6
1600-1899	4 900-1099	4 700-899	4 6-7.9	4 15-19.9	4 10h-8	8
1900-	5 1100-1199	5 900-1099	5 8-9.9	5 20-	5 10h-	10
	6 1200-1299	6 1100-1299	6 10-11.9			
	7 1300-1399	7 1300-1499	7 12-13.9			
	8 1400-1499	8 1500-1699	8 14-15.9			
	9 1500-1599	9 1700-1899	9 16-17.9			
	10 1600-	10 1900-	10 18-			

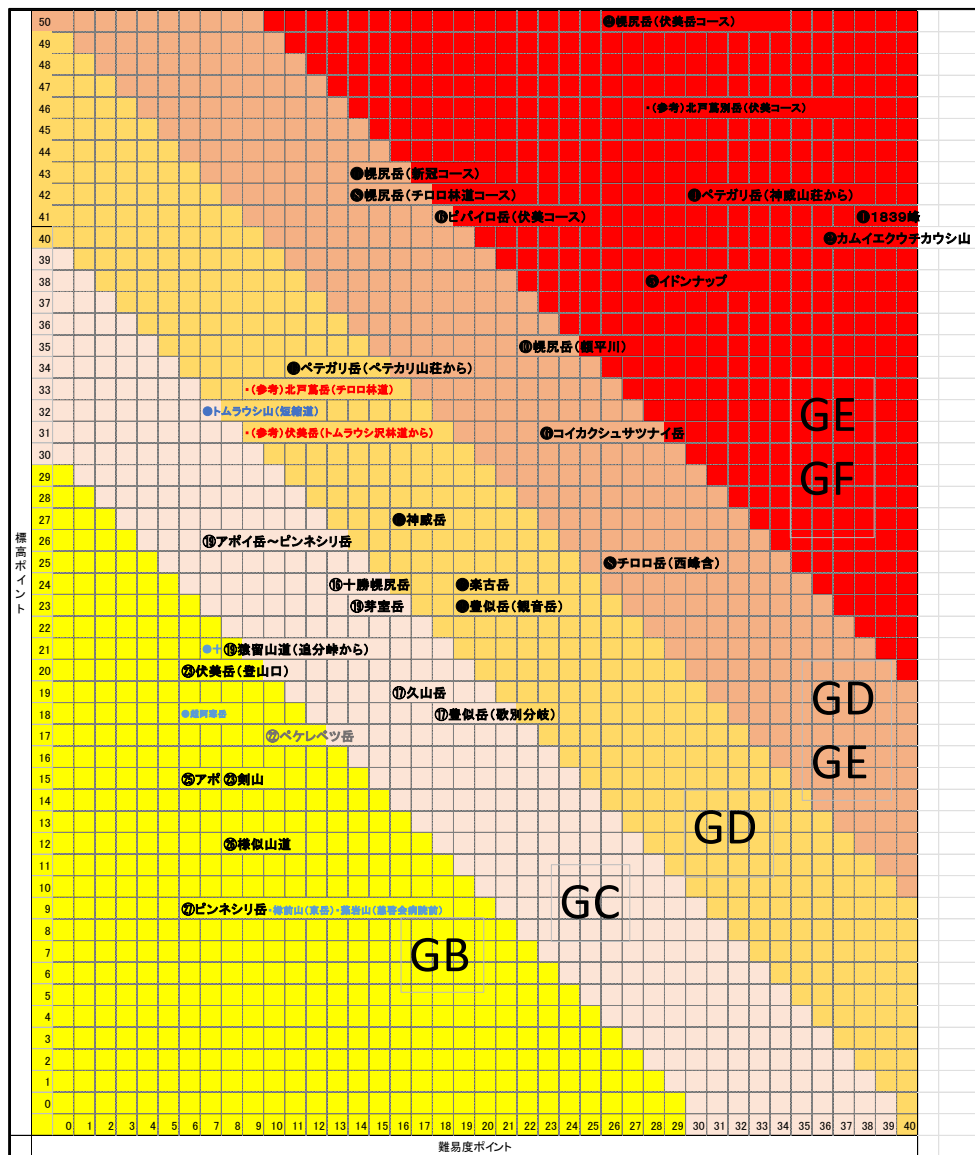
※最大合計ポイント：50点



# グレード設定バックデータ③

資料3 ポイント総合計						
コース	資料1合計ポイント	資料2合計ポイント	総合計ポイント	グレード		
				5分け	6分け	
1839峰	41	38	79	GE	GF	1839峰
カムイエクウチカウシ山	40	36	76			カムイエクウチカウシ山
槻尻岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)	50	26	76			槻尻岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)
(参考)北戸篤別岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)	46	28	74			(参考)北戸篤別岳(伏美コース・トムラウシ沢林道から)
ペテガリ岳(神威山荘から)	42	30	72			ペテガリ岳(神威山荘から)
イドンナップ岳	38	28	66	GD	GE	イドンナップ岳
ピパイロ岳(トムラウシ沢林道から)	41	18	59			ピパイロ岳(トムラウシ沢林道から)
槻尻岳(額平川コース)	35	22	57			槻尻岳(額平川コース)
槻尻岳(新冠コース・イドンナップ岳山荘から)	43	14	57			槻尻岳(新冠コース・イドンナップ岳山荘から)
槻尻岳(チロロ林道コース)	42	14	56			槻尻岳(チロロ林道コース)
コイカクシュサツナイ岳	31	23	54			コイカクシュサツナイ岳
チロロ岳(西峰含む)	26	26	52			チロロ岳(西峰含む)
神威岳	27	21	48			神威岳
ペテガリ岳(ペテカリ山荘から)	34	11	45			ペテガリ岳(ペテカリ山荘から)
楽古岳	24	19	43			楽古岳
豊似岳(庶野分岐・観音岳)	23	19	42	GD	GD	豊似岳(庶野分岐・観音岳)
(参考)北戸篤別岳(チロロ林道コース)	33	9	42			(参考)北戸篤別岳(チロロ林道コース)
(参考)伏美岳(トムラウシ沢林道から)	31	9	40			(参考)伏美岳(トムラウシ沢林道から)
(参考)トムラウシ山(短縮道登山口)	32	7	39			(参考)トムラウシ山(短縮道登山口)
十勝槻尻岳	24	13	37			十勝槻尻岳
久山岳	21	16	37	GC	GC	久山岳
豊似岳(歌別分岐)	18	18	36			豊似岳(歌別分岐)
アポイ岳～ピンネシリ(アポイ岳登山口)	26	7	33			アポイ岳～ピンネシリ(アポイ岳登山口)
芽室岳(西峰含む)	23	7	30			芽室岳(西峰含む)
猿留山道(追分峠～東口)	21	8	29			猿留山道
(参考)十勝岳	25	7	32	GB	GB	(参考)十勝岳
ペケレベツ岳	17	10	27			ペケレベツ岳
伏美岳(登山口から)	20	6	26			伏美岳(登山口から)
(参考)越阿寒岳	18	6	24			(参考)越阿寒岳
剣山	15	8	23			剣山
(参考)旭岳	15	6	21			(参考)旭岳
アポイ岳(北海道自然歩道線)	15	6	21			アポイ岳(北海道自然歩道線)
襟似山道	12	8	20			襟似山道
(参考)樽前山(東山)	9	6	15			(参考)樽前山(東山)
(参考)蕨岩山	9	6	15			(参考)蕨岩山
ピンネシリ	9	6	15	ピンネシリ		

# グレード設定バックデータ④



総合計点	グレード6分け	グレード5分け
-	グレードA	グレードA
0-29	グレードB	グレードB
30-39	グレードC	グレードC
40-49	グレードD	グレードD
50-59	グレードE	
60-	グレードF	グレードE

【参考資料】第2回登山道部会及び部会後の意見・対応方針一覧

参考資料

第2回登山道部会における意見

No.	提出機関名	意見大項目	意見小項目	意見内容	修正・対応方針	修正
1	アポイ岳ファンクラブ	グレーディングマップ・個別図	ピンネシリ	グレードAはピンネシリのみだが、道がわかりにくい場所もあり、ピンネシリが特筆して簡単とは思えない。この設定は妥当か。	第4回WG結果に基づき、下記の通り対応。 ピンネシリをグレードBへ移動、グレードAは空欄とし、今後のグレード見直しの際、必要に応じてグレードAに該当する路線を追加。	○
2	平取町	グレーディングマップ	山名	北戸鳶別岳など、読みづらい地名が多いため、山名にルビを振ることを検討されたい。	意見の通りに修正。	○
3	日高北部森林管理署	ルートの留意事項（P9）	ベテガリ岳	東の沢林道と道道については、徒歩でも全面通行できないため、ベテガリ山荘までは車両・徒歩共に通行止めであるということ を留意事項に明確に記載するべき。	ベテガリ岳の留意事項に下記を記載。 「・ベテガリ山荘に至る経路について、道道111号静内中札内線は、現時点で徒歩も含めて通行止め。」	○
4	十勝自然保護協会	個別図	十勝幌尻岳	16ページの十勝幌尻岳のルートに「河原歩き（ピンテ便り）」とあるが、「便り」は「頼り」に修正されたい。	意見の通りに修正。	○
5	帯広自然保護官事務所	グレーディングマップ・個別図	1839峰	札内川ヒュッテから稜線の肩までがグレードE、稜線の肩からコイカクシュサツナイ岳がグレードFになっているが、正しくは、コイカクシュサツナイ岳のピークまでグレードEである。	意見の通りに修正。	○
6	十勝自然保護協会 日高町	グレーディングマップ・個別図	1839峰、幌尻岳	1つのグレードで示している区間において、ルート上の中継地点やその間にあるピーク（ヤオロマップ、北戸鳶別岳等）の表記方法はどうか。	第4回WG結果に基づき、下記の通り対応。 北戸鳶別岳は、バックデータに従って、北戸鳶別岳を境にグレードを分割して示し、留意事項欄にリスクを記載、マップ上に星マーク等で付帯事項を明確に示した上で、大雪山国立公園などの山と比較しても難易度が高いことを明示する。 ヤオロマップ岳については、一般的に山頂で折り返す登山者がいないため、分割表示しない。	○

第2回登山道部会後に提出のあった意見

No.	提出機関名	意見大項目	意見小項目	意見内容	修正・対応方針	修正
1	日高振興局	グレーディングマップ・個別図	凡例	一般道と等高線に同じ色が使用されており分かりにくい。	黄土色と同系色とならないよう修正。	○
2	日高振興局	グレーディングマップ・個別図	凡例	「専用林道等」は一般的な用語とは言えず、読む人が分からないのではないか。	「専用林道等」の意味について注記。	○
3	日高振興局	グレーディングマップ	凡例	徒渉と沢登りが青系統で違いが分かりにくい。	異なる色に修正。	○
4	日高振興局	グレーディングマップ・個別図	凡例	グレードは危険度にもつながるので、一番上のグレードには赤、中間のグレードを黄とするなど一般的な警戒色とリンクさせた方がよい。	大雪山グレード等との比較の意味でも、一般的な警戒色と異なる配色にするため、修正しない。	
5	日高振興局	その他	その他	道警の山岳遭難救助隊への照会を行うなど、遭難救助に係る関係機関等の意見も伺うべき。	日高・十勝遭対協事務局を通して意見照会する。	
6	日高南部森林管理署	ルートの留意事項（P9）	⑤イドンナップ岳	（原文） 林道の路肩が流亡した場所があるため、通行注意。イドンナップ山荘へ至る林道は車両通行止めのため最新情報を確認すること。 （修正案） 登山口手前にある専用林道等の決壊箇所があるため、徒歩による通行注意。 ⇒留意事項の対象となる林道は登山道手前にある専用林道等であるため、対象箇所がわかるよう修正し、イドンナップ山荘へ至る林道の通行状況は幌尻岳新冠コースとも共通となるため、ここには記載せず削除。	下記のとおり修正。 「登山口手前にある専用林道等には決壊箇所があるため、徒歩による通行注意。」	○
7	日高南部森林管理署	ルートの留意事項（P9）	⑥神威岳	（原文） 複数回の徒渉があり沢靴が必要。東の沢林道は土砂崩れのため、当面の間、徒歩を含め通行止めのため最新情報を確認すること。 （修正案） 複数回の徒渉があり沢靴が必要。道道348号野深荻伏停車場線は〇〇のため、当面の間、徒歩を含め通行止めのため最新情報を確認すること。 ⇒現在、道道348号が通行止めになっているため上記のとおり修正。通行止めの理由（〇〇部分）は道路管理者（室蘭建設管理部浦河出張所）へ確認すること。	下記のとおり修正。 「複数回の徒渉があり沢靴が必要。道道348号野深荻伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。」 ※道道348号の通行止め理由について、室蘭建設管理部浦河出張所へ確認済み。  ベテガリ岳の留意事項については、下記のとおり記載。 「・本グレードは、ベテガリ山荘からベテガリ山頂までの区間を想定した評価である。 ・ベテガリ山荘に至る経路について、道道111号静内中札内線は、現時点で徒歩も含めて通行止め。 ・神威山荘方面からのルートについて、道道348号野深荻伏停車場線は路肩の崩壊のため、当面の間、徒歩を含め通行止めの情報あり。通行の際は、最新情報を確認すること。」	○
8	帯広市	グレーディングマップ・個別図	十勝幌尻岳	図面では国立公園区域内まで林道が続いている（車両通行可）ように見える。車両は登山口までで、国立公園区域まで600mほどは徒歩になるかと思う。	意見の通りに修正。	○
9	日高山岳連盟	グレーディングマップ・個別図	ベテガリ岳	山荘から片道9Kmもありアップダウンが多く、最終コルからの登標高差500Mの急登がある。南日高の楽古岳、神威岳に比べてもかなり差があると思われる。 幌尻岳新冠ルートについては、グレードはEになっているので、西尾根ルートも難易度は高く、同等もしくはそれ以上と思う。 グレードDからグレードEへグレードアップした方がよいと思う。	第4回WG結果に基づき、下記の通り対応。 原案のとおり、ベテガリ山荘-ベテガリ岳山頂区間について、バックデータのグレードDを採用し、留意事項にベテガリ山荘-山頂区間のグレードであることが分かるよう明記する。	
10	日高北部森林管理署	グレーディングマップ・個別図	凡例	専用林道等（一般車両通行可・期間等の規制あり）は、「法規制」ではないので、専用林道等（一般車両通行可・期間等の制限あり）に修正。国有林提出の元案は「制限」となっている。	意見の通りに修正。	○
11	日高北部森林管理署	グレーディングマップ	注記	「専用林道等は、森林の整備等のための業務用道路であり、「見通しが悪い」、「道幅が狭い」、「ガードレールがない」など一般道とは異なります。 また、落石、土砂、倒木等によって通行が妨げられることや事故につながる危険性もあります。事故防止のため、十分に減速するなど防衛運転を徹底し、自己責任で通行してください。」と記載する。	意見の通りに修正。	○
12	日高北部森林管理署	個別図	凡例	専用林道等（一般車両通行可）と専用林道等（一般車両通行可・期間等の制限あり）の路線色が「薄緑」と「薄緑の破線」で見分けがつかづらい。	「主なアクセス道」の凡例の配色をグレーディングマップと同様に修正。 ※全体図の黄色破線（一般道（車道通行止め、徒歩通行可））が、図面上でほぼ見えないため、適当な色彩を検討の上、修正。	○
13	日高北部森林管理署	グレーディングマップ・個別図	山名	地理院地図に記載がある「チロク西峰」の表記がないことを、部会前に文書で指摘しているが、反映されていない。	意見の通りに修正。なお、チロク西峰追記に合わせて、そのほかの主要経由地となる山のうち、現在記載のない新冠富士、吉田岳、観音岳及びパンケヌーシ岳も追記。	○
14	日高北部森林管理署	グレーディングマップ・個別図	路線表記	チロク林道の町道区間の境界を修正する。	意見の通りに修正。	○

## 令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会第1回登山道部会

### 議事要旨

■日時:令和7年6月23日(月)15:00~16:30

■場所:中札内村 農村環境改善センター 大集会室(Web 会議システム併用)

#### ■議事概要

1. 開会(司会:北海道地方環境事務所国立公園課長補佐 田畑)

#### 2. 議事

(1)日高山脈襟裳十勝国立公園登山道部会の今後の進め方について

・資料1、資料1(参考)、資料2について、事務局より説明。資料3について愛甲教授より説明。

<質疑等> ※→:事務局

【論点1.部会の今後の方向性について】

○先んじて、アドバイザーを山岳関係組織から招へいしてはどうかと事務局から提案があったが、どうなったか。

→今回は見送った。今後、アドバイザーから御意見をいただきたい議題があれば、適宜、部会の皆さんに伺った上で、声掛けし、呼び寄ることとしたい。まずは、ヒアリング等で対応できればと思う。

【論点2.日高山脈襟裳十勝国立公園におけるグレーディングの試行について】

○既に大雪山グレードがあるので、利用者は同じ基準で比較するのではと思うが、日高山脈は大雪山とは全く環境が異なる。大雪山は上に登ると平坦だが、日高山脈は険しくなる。また日高山脈は谷を登るルートが多いため、グレードは上がると思う。

→例えばアポイ岳中腹についても、大雪山グレードではグレード3の中級クラスとなるだろう。大雪山グレードでいうグレード6を追加しないと日高山脈では対応できないと思う。グレードの分け方について意見はあるか。

○環境省の公園計画において、カムイエクウチカウシ山の登山ルートには、現時点で通行不能な道道が含まれている。事故が起きたら困ることから、道路管理者は通行止めをしていると認識。グレードは、道路及び管理者に関する情報を踏まえて設定する必要があるのではないか。

→道路管理者側で理由があって通行止めとしているので、それが解消されるまでは、通行不能であるものと受け止めている。

○登山者の便宜を図って車道通行を認めている林道もあるが、通行の安全を保障しているわけではない。国有林の林道の通行については、自己責任であることについて

強調し、認識を徹底したい。

○大雪山では、登山者が自己判断の参考にグレードを活用しているといった声はあるか。

○登山者にどれくらい認知されているか近況は不明である。過去にグレードの認知度やグレードにあわせた行動がとれているかを調査したことがある。グレードの設定から時間が経ち、マップへの掲載、登山雑誌の付録等にもなっており、周知・浸透はされている状態。一方で、登山地図には記載されておらず、外国人、初心者には認知されているかは不明。ベテランが意外と知らないよう状況もあるようで、まだ浸透には課題がある。

○グレードが山行可否の判断材料になった等、グレードの活用のされ方に関する調査はされていないか。

○グレードに合わせてルートを選んでいるかの調査はした。大雪山は悪天候時も、夏でも低温になる強風が吹きつける。そういう所はグレード5にしているため、天候の急変に応じて引き返す目安にしてほしいと考えている。

○山行の判断に役立ててもらおうという視点で考えた場合、自分の力量をわかっているか否かで、グレード活用可否が変わるかもしれない。

○グレードに装備に関する情報を盛り込むことで、十分な装備を持って山行しようとする人もいるかもしれない。

○親切にするなら、自身のグレードがどこに該当するかの解説も一緒にあると良いのではないか。

## (2)各構成員からの登山道状況に係る情報の持ち寄りについて

・資料4について、事務局より説明

→登山時、スマホを携帯してGPSのポイントを落としながら写真を撮る方もいるため、電子データのやり取りで情報管理する方法もあると思っている。

## (3)環境省業務の予定について【報告】

・報告資料1について、事務局(アジア航測(株))より説明。

→今後の部会の検討課題の基礎資料として活用するために、まずは幌尻岳のルートについて、環境省でも調査を実施するもの。

○調査の実施について平取山岳会に共有しているか。

→まだ山岳会と情報共有はしていない。役場とは事前調整している。役場から山岳会に情報共有をお願いしたい。

→登山道部会のアドバイザー招へいについて、推薦する団体等があれば教えてほしい。なお、十勝、日高山岳連盟に加盟している各地域の山岳会の方は、各山岳連盟名義で参加可能と考えている。

○植生関係の専門家には声をかけないのか。

→まずはグレーディングにあたってアドバイスをいただける方という観点で御意見伺いたい。

(4)その他各構成員からの情報提供【報告】

・報告資料 2(1)について、日高北部森林管理署より説明。

・報告資料 2(2)について、十勝西部森林管理署より説明。

○先日の北海道日高地方山岳遭難防止対策協議会の総会で、「夏山登山の5つの心得」についての情報共有がなかった。本心得や国立公園協議会の動きについて、環境省から各地域の山岳遭難防止対策協議会へ共有していくべきである。

→了解した。山岳遭難防止対策協議会事務局と調整する。

○本公園のポータルサイトが必要とされる時期は近いのではないか。

→日高山脈襟裳十勝国立公園協議会の公式な情報発信の必要性は理解する。他方、現状では国の機関で新しいドメインを取得し、HP を立ち上げることは推奨されていない。各構成員の中で、協議会のポータルサイトの立ち上げの可否を検討いただきたい。当面の間は、環境省 WEB サイトにある本公園のページに、新しい情報を追記していきつつ、できるだけ多くの人に見ていただけることを目指したい。

3. その他

○日高山脈襟裳十勝国立公園協議会・部会の役割や目指すべき方向性がはっきりしない。グレーディングを行うことが目的ではなく、それを用いて多くの人に安全に登山を楽しんでいただくことを前提とし、持ち寄った情報をどう取り扱うか、その先のアクションが見えないと、動きづらい。この協議会が果たす役割をはっきりさせたほうがよい。

→一般に公開すべき情報と、内部で共有する情報は分けて考えなければならない。全部 HP での共有とはしない。今後、内部(関係者)で共有できる仕組みを考えていきたい。

○国立公園になった。環境省の立場、役割を内部で検討してほしい。

→了解した。どのような役割を果たしていくか考えていきたい。

○「夏山登山の5つの心得」のデータは HP に掲載されているのか。

→環境省 WEB サイトにおいて、PDF を掲載し、利用者が確認、印刷できるようにしている。また、いくつかの構成員においても WEB サイトに掲載していただいていると理解している。

○WEB サイトをリンク集のようにできないか。PDF に記載している QR コードの5つのサイトについては、直接飛べるようにしておいた方がよい。

→至急検討する。なお、「夏山登山の5つの心得」の PDF に記載している QR コード

には、ハイパーリンクを埋め込んでおり、クリックしてリンク先に飛ぶこともできる。

#### 4. 閉会

## 令和7年度日高山脈襟裳十勝国立公園協議会

### 第2回登山道部会 議事要旨

■日時:令和7年12月22日(月)10:00~12:00

■場所:新ひだか町地域交流センターピュアプラザ 多目的室(Web 会議システム併用)

#### ■議事概要

1. 開会(司会:北海道地方環境事務所国立公園課課長補佐 田畑)

#### 2. 議事

(1)日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレード(案)について

・資料1、資料2及び資料3について、事務局より説明。

<質疑等> ※→:事務局

【論点1.日高山脈襟裳十勝国立公園登山道利用体験グレードマップ(案)について】

○グレードAはピンネシリのみだが、道がわかりにくい場所もあり、ピンネシリが特筆して簡単とは思えない。この設定は妥当か。

→一定の基準に従って整理した結果であるが、特筆して簡単なコースと受け止められることへの懸念をいただいた。

→難易度の誤解を招かないよう留意事項や説明文を工夫する予定である。

○日高山脈のグレードを6段階にした理由は何か。

→大雪山が5段階であるのに対し、日高山脈の難易度の高さや特徴を明確にするため、6段階としている。

○グレードA~Fの具体的な難易度や違いを、初めて見る人にも分かりやすく説明できているか。

→現在は十分な説明がなく、難易度の誤解を招く恐れもある。今後、大雪山のグレード表記のように、文章やピクトグラムで具体的な難易度を分かりやすく表現できるよう検討する。

○アクセスルート等の説明文について、誤解を招かないように工夫が必要。特に、専用林道の通行は、自己責任であって、一般道と同等の安全が保障されたものではないので、その旨は明示した方が良い。後ほど、通行安全上の誤解を招かず、より正確かつ簡潔な表現を提示する。

○イドンナップ山荘への林道は期間限定での開放であるため、「期間限定で通行できる」という注意書きが適切である。最新情報を確認すべきとする記載は妥当だが、全面通行止めではないことを明記する必要がある。

- 神威岳のアクセス情報(林道名や通行止め情報)は正確か。
- 林道名や通行止めの記載に誤りがあり、実際には道道368号線の土砂崩れで神威岳へのアクセスができない状況である。
- 正確な道路名や状況について情報をいただいて、正しいものに修正する。
- ペテガリ岳のグレード設定は、登山口から山頂までの評価だけで良いのか。アプローチ道を含めるべきではないか。
- 今回はアプローチ道の道道の扱いなど他の状況も踏まえ示せる範囲に限り、ペテガリ山荘(登山口)から山頂までを評価対象として掲載することとした。ペテガリ岳は、実際には長い行程を要することについて、ルートごとの留意事項に明記する必要があると考える。
- 「ペテガリ山荘までは車両・徒歩とも通行止め」ということも留意事項に明記しておくべきである。グレード設定の理解を得るため、正確な情報の記載が必要である。
- 読み方が難しい山名には、ルビを振った方が良いのではないか。
- 今後、ルビを追加する。
- 1つのグレードで示している区間において、ルート上の中継地点やその間にあるピーク(ヤオロマップ、北戸蔦別岳等)の表記方法はどうか。
- 路線内でグレードを分割することの取扱いについては、改めて丁寧に整理しておくべきだと考える。北戸蔦別岳の扱いはワーキンググループで整理済みと理解していた。
- 本取扱いについては、ワーキンググループで再度意見を集約し、合意を得た上で決定する。

#### 【論点 2. グレード検討のデータについて】

- 検討経過やバックデータはどこまで公開するか。
- 資料3参考 1 は、部会資料としての HP 公開を想定し、資料2の完成版には記載しない。同参考 2 は、資料に記載のとおり、有料の民業との権利調整が不可欠等の事由があることから、非公開としたい。
- 詳しく知りたい人は部会資料まで調べ、ただ活用したい人は最終結果がわかれば十分と考えると思われるので、事務局提案の取扱いで良い。＜その他異議なし＞

#### (2)その他各構成員からの情報提供【報告】

- 1)日高北部森林管理署管内の入林簿記載者数(日高北部森林管理署)
- ・日高北部森林管理署管内の入林簿記載者数について、日高北部森林管理署より説明
- 記載者数は実際の入林者数よりは少ないだろう。ただし、毎年一定数は記載しない者がいると推測されるため、増減のおおよその傾向は示していると考え。今年度

大幅に減少した理由は明確ではないため、今後も継続的に動向を注視する必要があると考えている。

## 2) 十勝自然保護協会の取り組み(十勝自然保護協会)

・十勝海岸のゴミ拾いの取り組みとマイクロプラスチックについて、十勝自然保護協会より説明

○森林施業のマーキングテープをしばしば見かける。森林管理署では、どのようなものを使っているか。

○テープの仕様について、確認の上回答する。

○平取町山岳会では生分解性のものを使っているが、生分解性テープのピンク色は見えづらいという声があり、来年度は色の変更を試行予定である。

○以前はどの団体もテープに日付等を記入していたが、今は書いていないものが多い。日付等の記載があれば、要不要を判断の上ゴミとして回収もできる。

## 3. その他

○アポイ岳ファンクラブでは毎年登山道の整備を行っている。今後は登山道の整備方針について話し合う場が必要だと考えているので、この場が適切か、別途場を設けるのが適切かなど、議論していければと考えている。

○平取町では幌尻岳(額平川ルート)登山のための安全対策やトイレ整備を目的に、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施中である。資金確保方法の参考になればと思い、情報提供した。

→登山道整備の資金確保にはクラウドファンディングやふるさと納税の活用例もあると聞く。他の自治体や団体でも参考にできると思うので、積極的に情報提供いただけるとありがたい。

○登山道や林道の整備・管理には、近年の異常気象による影響も考慮した対策が必要だ。

→気候変動への適応は必要な視点と考える。

○登山者数などの利用者データは、登山道整備や優先順位の決定にとっても重要なので、今後も定期的にデータを整理・蓄積していく必要がある。今回報告された他にも、登山口で入林簿やカウンターを設置し、集計している事例はあるか。

○様似町ではカウンターを設置しているが、登山者数は入山簿の記入数で把握している。近年は登山者数が少しずつ減少傾向にある。

○環境省としてトラフィックカウンター等を設置する予定があるか。現状設置されている場所は一箇所もないという理解でよいか。

→現時点で環境省が設置したものはない。状況に応じて、関係機関等との役割分担の下、将来的に検討の可能性はある。

- 幌尻岳ではバスが運行しているが、利用者数の把握は可能か。
- 幌尻岳額平川ルートでは、基本的にシャトルバス乗車人数が登山者数と考えている。適切な把握は、遭難対応にも役立つ。
- 各自治体や森林管理署等で登山者数データを年度ごとに集計し、部会で共有いただけないか。今後の議論に生かせる重要なデータと考える。  
→各構成員でお持ちの登山者数の集計データを、年度末又は年度はじめの登山道部会で報告いただけるとありがたい。事務局で取りまとめて共有できるよう、可能な方法を今後検討したい。

#### 4. 閉会